

# ティーチング・ポートフォリオ

大学名 人間総合科学大学

所属 心身健康科学科

名前 渡辺 久美

作成日 2026年5月7日

## 1. 責務（何を行っているか、何を果たしているか）

### 【担当科目】

#### ■通信制

ヒューマンー未来社会の幸福(S)、心身健康科学-こころとからだの健康科学(N・T)、  
コミュニケーションのコツ(T)、こころとからだのデータサイエンス探究(S)

#### ■通学性

心身健康科学Ⅰ

#### ■大学院生

心身健康科学特講、心身機能観察特講Ⅰ・Ⅱ、心身健康科学研究Ⅰ・Ⅱ

心身健康科学特殊特講

### 【委員会】

ハラスメント委員会

## 2. 理念（教育に対する考え方）

急速なAIの成長に伴い、大学教員の在り方を考えさせられます。しかし、教育において人間だけにしかできないことはあると感じています。また、心身健康科学という学問は、鳥の目、虫の目、とんぼの目を持ちながら、めまぐるしい環境の変化に適応し、健やかに生きていくすべを学ぶ分野と捉えています。これは、私たちが生きるうえで、最も大切であると考えています。それを自身の教育の基盤とし、学生さんや教員の皆さんと共に前へ進んで行きたいと思えます。

## 3. 方法（教育方法において大切にしていること）

教育に関しては、「教える」ということよりも、「伝える」ことを大切にしています。そのためには、見やすい資料提供、伝わる話し方、授業の雰囲気等を常に意識しています。また、一方的にならないように、学生さんの反応をみながら、一人一人とコミュニケーションがとれるよう配慮しています。

さまざまな背景を持つ学生さんに対し、自身の臨床経験や教育経験、研究活動を通して学び得たことを共有し、ともに学びを深めていきたいと考えています。

4. 成果（学生さんからの評価に対して、学生さんの学修成果について）

2026年4月に着任したため、現時点での評価はありません。

5. 目標（教育活動の中短期目標と達成時期）

短期目標

- ・担当科目の授業が滞りなく実施できること
- ・学生さんからの質問に対して、幅広い視野での確かなコメントを返すこと
- ・学生さんからの評価を真摯に受けとめ、授業に活かすこと

中期目標

- ・大学院生ならびに探求の学生さんに対して、各々のペースでステップアップができるよう関わり（伴走し）、成果を出すこと
- ・最新の情報を交えながら、授業展開をすること
- ・自身の研究活動を踏まえ、心身健康科学の授業に活かすこと

\* 表紙を含め、全体として、3～10ページ程度とします。

【添付資料】

- \* TPの記載内容を客観的に示すためのエビデンスとなる資料項目を箇条書きで列挙ください。（シラバス、開発教材、学生アンケート等、特に特徴的なものを列挙し、必要に応じて、すぐに確認できるようにしておきます。）